

# 全国制覇へ意気込み



花束を受け取る仲井宗基監督(左)と北口晃大主将  
=20日、八戸市のデーリー東北ホール

## センバツ 出場 光星野球部、本社訪れ

阪神甲子園球場での第98回選抜高校野球大会(3月19~31日)に2年ぶり12度目の出場となる八戸学院光星高硬式野球部が20日、八戸市のデーリー東北新聞社本社を訪れ、悲願の全国制覇に向けて意気込みを披露した。【13ページ関連記事】この日は仲井宗基監督、

小坂眞志部長、中村良寛校長、横山順紀協賛会長と選手3人が訪問。社員らに拍手で迎えられ、仲井監督と北口晃大主将が花束を受け取った。  
デーリー東北ホールで行われた報告会で、仲井監督は「市民や青森県民の声援が大きな励みになってい

る。結果で恩返ししたい」と抱負。北口主将は「東北の代表として、甲子園では全力プレー、一戦必勝で全国制覇を目指す」と決意を口にした。

これに対し、広瀬知明社長は「伸び伸びと思いつつたプレーで波に乗ってほしい。臆せず頑張って」と激励した。

選手たちは3月10日に八戸を出発する予定。大会までは練習試合などで調整を行うという。(千葉達也)